

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	ひとり親家庭医療助成事業	担当課名	子育て応援課
-----	--------------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、医療費の一部を助成することによりひとり親家庭に対し経済的支援を行うとともに、生活の安定と児童の健全な育成を図ることを目的とする。
(事業概要等)
ひとり親家庭に係る医療費について、一医療機関あたり1日500円の自己負担を上限に公費で助成する。(同月同病院であれば月2回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円。所得制限あり。)

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	50,996	52,471	58,363	61,574	
うち市負担分(千円)	25,814	25,814	29,539	30,707	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
年間助成延べ件数	件	18,792	19,389	21,599	-
年間助成総額	千円	49,616	50,864	56,630	-
助成1件あたりの額(助成総額／助成延べ件数)	円	2,640	2,623	2,622	-
(指標を設定できない理由)					
必要な者に必要な額を助成する事業のため、目標値の設定になじまない。					
(成果の概要)					
ひとり親家庭の経済的な支援として不可欠なものであるが、その事業効果を数値化して計ることが難しい。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	対象者数は微減傾向であるが、助成件数や助成額は増加しており、今後市の財政負担が増加していく可能性がある。
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	ひとり親家庭の自立に向けた安定した生活には不可欠な事業であり、また、府の補助事業として府内一律で実施しているものであるため、継続して実施していく。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	子ども医療助成事業	担当課名	子育て応援課
-----	-----------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、子どもの医療費の一部を助成することにより、子育て世帯へ経済的支援を行うとともに、子どもの健康の向上と福祉の増進を図り、子どもを安心して産み育てるための環境づくりを推進することを目的とする。
(事業概要等)
満18歳(高校3年生修了)までの子どもに係る通院及び入院医療費について、一医療機関当たり1日500円の自己負担を上限に公費で助成する。(同月同病院であれば月2回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円)

### 【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	232,837	265,991	339,393	372,720	
うち市負担分(千円)	185,899	200,925	243,528	260,727	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
年間助成延べ件数	件	110,833	125,671	156,109	-
年間助成総額	千円	225,809	255,490	329,906	-
助成1件当たりの額(助成総額/助成延べ件数)	円	2,037	2,033	2,113	-
(指標を設定できない理由)					
必要な者に必要な額を助成する事業のため、目標値の設定になじまない。					
(成果の概要)					
子育て世帯にとって、医療費に係る負担は大きなものであり、その一部を助成することは子育て支援施策として有効なものであるが、その効果を数値化して計ることは難しい。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	子育て世帯の経済的負担を減らし、子どもの早期受診を促し重症化予防にもつながっているが、国の制度として確立されておらず、市町村間で格差がある。年齢引き上げによる市の負担額も増えているため、引き続き国に制度の確立を要望していく。
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	子育て支援として効果があり、有意義な施策であるため継続して実施していく。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり
事業名	発達支援事業		担当課名	子育て応援課

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

笑顔で育ち育てられるまちをめざし、子どもを安心して産み育てられる環境づくりとして、発達障がい児の成長段階に応じた一貫した支援体制(妊娠・出産・子育てシームレスケア体制)の充実を図ることを目的とする。

(事業概要等)

発達支援シームレスケア体制構築のため、①発達に支援を要する子どもへの早期気づき・早期支援、②発達障がいの理解、③家族支援、④切れ目ない支援体制づくりを基本方針とし、発達相談や出張相談、教室などの相談支援事業や、家族支援のためのペアレントトレーニング、人材育成のための巡回相談や研修会を実施。また、切れ目ない支援体制構築のための発達支援ネットワーク会議等の開催、情報の一元化のための「わたしノート」の作成と活用などを行う。

### 【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,765	3,447	2,660	3,294	
うち市負担分(千円)	0	0	163	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
発達相談件数	件	638	445	528	550
1歳6か月児健診後の発達フォロー教室(わんわん教室)参加実人数	人	50	47	44	50
わたしノート配布数	人	108	76	77	80
(指標を設定できない理由)					

(成果の概要)

①発達の早期気づきと早期発達支援:2歳半育児相談会の開催により早期の気づき・早期支援開始を行う体制の充実を図ることができた。②発達障がいの理解の促進:発達障がい啓発ちらしを健診等で配付し、啓発・周知・人材育成(研修)をすすめることができた。③家族支援:発達相談や発達支援教室における保護者支援の他、ペアレントトレーニングや家族交流会を実施。④切れ目ない支援体制づくり:「わたしノート」(サポートブック)の発行による情報の一元化や、小学校や教育委員会などの教育機関との調整により、早期の気づきから学童期に渡る切れ目ない支援体制の強化を図った。また、所属する園所や児童発達支援センターとの連携により、スムーズな支援へのつなぎや、支援方針の共有による発達支援の強化を図った。

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	児童発達支援センターの開所(令和5年4月)に伴い、相談資源が拡充した。また、教育機関や相談機関との役割分担の整理を行い、機関連携についても再度確認を行った。
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	発達障がいや発達支援についての理解をすすめるための周知・啓発の検討および地域の支援力向上に向けて児童発達支援センターと共に検討していく必要がある。
--------	---

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	発達に支援を要する親子の切れ目ない支援を実現させるためには、当該事業の実施は必須であり、基本施策①～④の取り組みの拡充、強化を図る必要がある。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	母子健康管理事業	担当課名	子育て応援課
-----	----------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、母子及び乳幼児の健康管理についての相談支援体制等を充実し、子どもを安心して産み育てることのできる環境づくりを推進することを目的とする。
(事業概要等)
母子健康手帳交付、両親教室、離乳食講習会、子育て広場、育児相談、家庭訪問、産後ケア、不妊に悩む方への特定治療助成などの事業を通し、妊娠期から子育て期まで継続した相談支援を行い、不安なく出産、子育てができるよう関係機関と連携し、支援を行う。

### 【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,465	7,124	137,387	4,214	事業費総額の増減。R05は妊娠・出産・子育て応援事業が含まれていることによる大幅増。R06は別々となったことによる大幅減。
うち市負担分(千円)	3,795	4,768	7,311	2,375	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
母子健康手帳発行数	人	522	573	521	600
「応援レター」を送付した妊婦で、こんにちは赤ちゃん訪問時の質問票で「育児は楽しいと思うか」で「楽しい」と答えた人の割合	%	88	91	89	90
訪問指導(妊産婦、乳幼児)	件	1,238	1,157	2,282	1,300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
妊娠届出時の全数面接や妊娠応援レターの送付、家庭訪問や育児相談・教室などを通じて、妊娠期から継続して親の不安や悩み、親子の心身の状況、養育環境などを把握し支援を行うことで、育児の孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境の充実に図れた。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援を実施するとともに、7か月育児相談会をアウトリーチ型の7か月児訪問ギフト事業(にこにこベビー訪問事業)に変更し、訪問による育児相談と育児用品等のギフトの支給を一体として実施。乳幼児期からの子育ての喜び・楽しさを発信するとともに、子育てへの不安・負担の軽減を図った。
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	出産や産後の生活について具体的に考え始める妊娠8か月の時期に、産後利用できるサービスや必要な手続きの情報提供等を行うための妊娠8か月面談の実施数が少ないため、対象者へのさらなる周知と、利用しやすい相談支援体制の充実が必要。
--------	---

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	今後においても継続して全ての妊産婦が安心して妊娠・出産・子育てが行えるよう妊娠期からの切れ目のない支援の充実を図っていくため、妊娠応援レターの内容や送付時期を見直し、必要な情報提供を適時に行うとともに、妊娠8か月面談のちらしを同封することで対象者への周知を図り、また、面談予約にWeb予約を導入することで利用者の利便性と面談実施率を向上させる。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	母子健康診査事業	担当課名	子育て応援課
-----	----------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)  
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、妊婦や乳幼児が健康診査を受診しやすい環境を整備し、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを推進することを目的とする。

(事業概要等)  
母子保健法に基づき、妊婦健診、産婦健診、乳幼児健診、育児相談等の実施により、疾病の早期発見、親子の健康の保持増進及び育児支援を行う。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	81,166	81,016	77,708	87,351	
うち市負担分(千円)	77,784	76,074	75,510	83,232	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
4ヶ月児健康診査受診率	%	99	99	98	100
1歳6ヶ月児健康診査受診率	%	97	99	98	100
3歳6ヶ月児健康診査受診率	%	95	94	95	100

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)  
妊娠期から出産、乳幼児期を通し、関係機関と連携し、疾病の早期発見、適切な保健指導及び育児支援を実施することができた。

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	乳幼児健診での待ち時間短縮のため、受付開始時間の繰り上げや受付時間毎の人数調整を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた集団指導について再開し、健診内容の充実を図った。
--------------------	---

### 【事業の課題】

課題・問題点	新型コロナウイルス感染症の影響で一部内容を変更して実施していた食のサロン(ティーサロン)をはじめ、待ち時間を活用した健康教育・相談等の再開を検討していく必要がある。
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	親子の疾病の早期発見と支援及び健康管理を目的とするため、継続して実施していく必要がある。また、待ち時間の短縮だけでなく他市の事例を調査し、待ち時間を有効活用できるような方策の導入も検討し、受診しやすい健診づくりを目指す。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	障がい児通所支援施設処遇改善事業	担当課名	子育て応援課
-----	------------------	------	--------

### 【事業の概要】

#### (事業の目的・趣旨)

笑顔で育ち育てられるまちをめざし、関係機関との連携を図り、障がい児及び発達障がい児の成長段階に応じた支援体制を充実させるため、児童通所支援センター(障がい児通園施設)及び発達障がい児療育等支援事業所へ補助金を交付することにより、入所児童の処遇改善、療育内容の充実及び円滑な運営を図ることを目的とする。

#### (事業概要等)

障がい児通所支援施設への入所児童数に応じ、その処遇改善のための補助金を交付する。

### 【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,445	5,730	2,070	3,075	
うち市負担分(千円)	4,725	4,200	1,050	525	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
センター利用児童数	人	9	8	2	—
事業所利用児童数	人	16	9	6	—

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

本格的な早期療育の機会を提供することにより、こどもたちの将来にわたる自立の促進に寄与することができた。

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	前年度に引き続き、当施設の利用機会が得られるように、積極的に情報発信し、進路指導に努めた。
--------------------	---

### 【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	本市のこどもたちが当施設に通うことが、こどもの自立促進や家族のケアにつながり、それ以後の進路指導もスムーズに受け入れできているため。センター利用児童については、令和5年度から市立の児童発達支援センターの開所に伴い同年度以降対象児は減少見込。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	団体等育成支援事業(障がい児親の会)	担当課名	子育て応援課
-----	--------------------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、障がい児を持つ親、家族同士の情報交換や交流、相談の場としての活動を行っている障がい児(者)親の会を社会福祉協議会とともに支援することにより、家庭や地域の子育て力の向上を支援することを目的とする。
(事業概要等)
泉大津障がい児(者)親の会へ大会開催を委託するとともに、補助金の交付によりその活動を支援する。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	0	0	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
会員数	人	41	34	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和2年度以降、泉大津障がい児(者)親の会への予算執行がなく、令和5年度に休止となる。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止
上記評価理由および今後の方向性	泉大津障がい児(者)親の会が活動を休止したため。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	団体等育成支援事業(母子福祉会)	担当課名	子育て応援課
-----	------------------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津市母子福祉会の活動を社会福祉協議会とともに支援することにより、母子家庭ならびに寡婦が互いに連携をとり、共に励ましあいながら、母子福祉の向上に努めることを目的とする。
(事業概要等)
泉大津市在住の母子家庭ならびに寡婦をもって組織される泉大津市母子福祉会へ母子福祉大会(隔年実施)の開催を委託するとともに、当団体へ補助金を交付することにより、その活動を支援する。

### 【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	297	169	359	361	
うち市負担分(千円)	297	169	359	361	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
会員数	人	40	34	38	38
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
母子家庭の集い等の会員間や他団体との交流により、同じ立場にある者同士の親睦を深め、情報交換し、悩みを相談しあうなど、生活の安定につながっている。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	母子・父子・寡婦の福祉増進は母子及び父子並びに寡婦福祉法に規定される市の責務であり、本団体の活動も大きく寄与しており、引き続き支援していく必要がある。